

人間福祉学研究科で学べる内容(例)

コア科目群

研究法入門、調査研究法、保育・教育実践研究法、社会福祉学、ソーシャルワーク研究、発達心理学、精神保健学研究ほか

児童学分野

教育や保育の現場実践から得た課題を取り上げ、児童学を基盤としながら、子どもの発達と環境、家庭、子育て支援等について研究します。

児童・青年期心理病理、異文化間教育、児童文化、児童福祉、児童教育学、児童表現法指導ほか

福祉学分野

社会的な支援を必要とする人々、特に高齢者や障害者が直面する諸問題について考察します。

医療・福祉政策、高齢者保健福祉、精神保健福祉、福祉工学ほか

臨床死生学・グリーフケア分野

心の痛みを負い、生と死の意味に向き合う現代人の心と靈性の問題について研究を行います。

臨床死生学、グリーフケア、スピリチュアルケア、キリスト教とカウンセリングほか

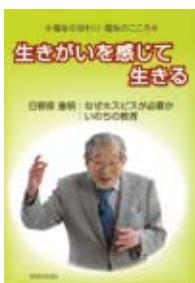
修士論文テーマ例

- 精神科診療所デイケアに対する通所者の意味づけの変化に関する研究
- 小澤竹俊らの村田理論理解の問題点について
- 外来化学療法を受ける進行・再発がん患者の在宅におけるスピリチュアルケアの一考察
- スピリチュアルな視点から人と人のつながりを深める可能性の一考察
- ソーシャルビジネス的手法による福祉課題への挑戦
- 社会構造と政策の変化が国民健康保険制度に及ぼす影響とその評価
- 小中学校教師のストレスとメンタルヘルスに関する研究
- 自助グループの必要性と意義－自死遺族ケアの促進

科目等履修制度のご案内

「学びたいが今は都合がつかない」という方のために、大学院に入学しなくても特定の授業科目を履修できる制度です。その後正規に大学院に入学した場合、科目等履修で取得した単位が10単位まで修了単位数に数えられます。詳しくはHP参照。

参考図書



福祉の役わり・福祉のこころ5 生きがいを感じて生きる

著：日野原 重明

101歳になっても生き生きと“生涯現役”を続ける日野原先生！何が元気の秘訣なのか？毎日を「生きがいを感じて生きる」ことこそが答えである。前半の「なぜホスピスが必要か」は、2008年11月7日の講演をもとに、後半の「いのちの教育」は、2012年5月17日の講演されたものをもとにまとめられている。(A5判 735円)



スピリチュアルケアを学ぶ2 スピリチュアルペインに向き合う こころの安寧を求めて

編著：窪寺 俊之 / カール・ベッカー / 西野 洋

スピリチュアルケアは「魂へのケア」とも言い換えられるように、心の深みにある不安や畏れ、「私の人生の目的は何か」、「私の負った苦しみの意味は何か」といった思いに苦しむ方々へのケアである。本書には日本の視点からスピリチュアルケアの本質に迫ったカール・ベッカー氏の「医療が癒やせない病」他、収録。自分自身の根底にあるスピリチュアルなものを見いだすきっかけを与える内容となっている。(A5判 2,310円)



被災者と支援者のための心のケア

編：聖学院大学総合研究所
カウンセリング研究センター

この冊子は、被災者と支援者の心のケアに役立つことをめざして書かれている。それぞれの著者が、あまりに悲惨な現状に語りかける言葉を見いだしえない、また言葉にならないもどかしさを感じながら書いたものである。著者たちがもがき苦しみの中から書いたことばが被災した方々、支援する方々の心のどこかに伝わることを願う。(A5判 630円)



人間福祉スーパービジョン ソーシャルワーカーを支える

編著：柏木 昭 / 中村 磐男 / 牛津 信忠
/ 助川 征雄 / 田村 綾子 / 相川 章子

高齢化とそれに伴う医療需要の増加により、保健・医療・福祉の連携が要請され、地域包括支援センター、病院の地域医療連携室、さらに退院支援、在宅医療、在宅介護などを例にとって、ソーシャルワーカーへの期待は高まっている。本書は「スーパービジョン」および「スーパーバイザーの養成」の重要性を明らかにし、ソーシャルワーカーを支援しようとするものである。(A5判 2,940円)